

# バンガード®・米国メガキャップETF

2017年9月30日現在

MGC

## 投資アプローチ

- CRSP USメガキャップ・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指します。
- 米国市場における超大型株への分散したエクスポージャーを提供します。
- 完全法を用いたパッシブ運用です。
- ファンドはフルインベストメントを維持します。
- 低経費によってトラッキングエラーを最小限に抑えます。

## ベンチマークについて

- CRSP USメガキャップ・インデックスは、米国株式市場における投資可能企業のうち時価総額上位約70%のパフォーマンスを表します。
- このインデックスは、米国株式市場における超大型株セグメントのパフォーマンスを正確に表しつつ、売買回転率を低く抑えるように作られています。

## パフォーマンス実績

2017年9月30日までのトータルリターン<sup>2</sup>

MGC (設定2007年12月17日)	四半期	年初来	1年間	3年間	5年間	設定来
基準価額 (NAV) リターン <sup>3</sup>	4.68%	14.75%	19.36%	10.82%	14.11%	8.11%
市場価格リターン <sup>4</sup>	4.66	14.70	19.41	10.80	14.11	8.11
合成メガキャップ・インデックス	4.68	14.79	19.43	10.89	14.20	8.17

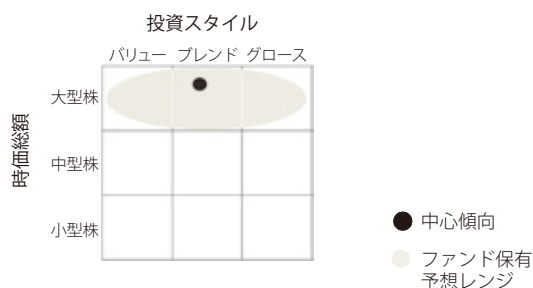
2013年1月30日まではMSCI USラージキャップ300インデックス、その後はCRSP USメガキャップ・インデックス。

上に掲げたパフォーマンスのデータは過去の実績であり、今後の結果を保証するものではありません。投資リターンと元金価額は変動するため、投資家が持分を売却する時には、その価値が当初のコストを上回る、あるいは下回ることがあります。また現在のパフォーマンスは上述のデータを上回る、あるいは下回ることがあります。

インデックスに直接投資することはできません。

投資商品：FDIC保険対象外・銀行保証なし・投資元金損失のリスクあり

## 投資フォーカス



## 概要

ベンチマーク	CRSP USメガキャップ・インデックス
経費率 <sup>1</sup>	0.07%
配当スケジュール	四半期毎
ETF純資産総額	12.55億米ドル
ファンド純資産総額	13.89億米ドル
設定日	2007年12月17日

## 取引情報

ティッカー・シンボル	MGC
CUSIP番号	921910873
IIV (イントラデイ・ティッカー)	MGC.IV
インデックス・ティッカー (Bloomberg)	CRSPMET
上場取引所	NYSE Arca

<sup>1</sup> 直近の目論見書の記載から (2016年12月22日付)。ファンドの現在の経費率は、目論見書に記載されている数値よりも低い、または高い可能性があります。

<sup>2</sup> 期間1年未満の数値は累積のリターンです。それ以外の数値は平均の年次リターンです。ファンドのパフォーマンス実績は、配当金とキャピタルゲインの再投資を含む、税引前および経費差引後の数値です。ベンチマークとなるインデックスが示すのは、さまざまな金融資産にかかる、ファンドマネジャーによる運用がされていないリターン、あるいは平均リターンであり、ファンドの相対的なパフォーマンスを検討する上で、ファンドのトータルリターンとの比較対象となります。

<sup>3</sup> 米国東部時間午後4時、すなわちニューヨーク証券取引所の大引け時の基準価額。

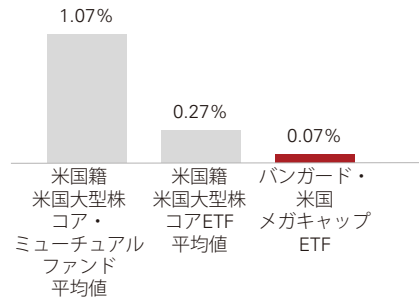
<sup>4</sup> 市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は米国東部時間午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算します。

# バンガード・米国メガキャップETF

2017年9月30日現在

MGC

## 経費率の比較<sup>1</sup>



## ETFの主なデータ

	バンガード・米国メガキャップETF	CRSP USメガキャップ・インデックス
構成株式銘柄数	273	271
時価総額の中央値	1,218億米ドル	1,218億米ドル
株価収益率	22.2倍	22.2倍
株価純資産倍率	3.1倍	3.1倍
株主資本利益率	16.0%	16.0%
利益成長率	9.1%	9.1%
米国株以外の株式	0.0%	0.0%
売買回転率 <sup>2</sup>	7.0%	—
標準偏差 <sup>3</sup>	10.10%	10.10%

## 保有上位10銘柄と純資産総額に占める割合 (%)<sup>4</sup>

Apple Inc.	3.9%
Microsoft Corp.	3.1
Alphabet Inc.	3.1
Facebook Inc.	2.2
Amazon.com Inc.	2.1
Berkshire Hathaway Inc.	1.9
Johnson & Johnson	1.9
Exxon Mobil Corp.	1.9
JPMorgan Chase & Co.	1.8
Bank of America Corp.	1.3
純資産総額に占める上位10銘柄の割合	23.2%

## セクター別の構成比率(普通株式の割合比較) (%)<sup>5</sup>

テクノロジー	20.1%
金融	18.9
ヘルスケア	14.4
消費者サービス	13.1
資本財	11.2
消費財	9.0
石油・ガス	6.1
公益	2.7
通信サービス	2.5
素材	2.0

<sup>1</sup> 直近の目論見書に記載されているバンガードETFの経費率です。ミューチュアルファンドとETFの間には大きな違いがあります。ETFはミューチュアルファンドと異なり、流通市場において終日にわたって絶えず値付けされ、証券ブローカーの仲介によって、基準価額にプレミアム/ディスカウントを加えて売買されます。この仲介に対しては手数料が支払われます。出所：Lipper, a Thomson Reuters Company、および Vanguard、2016年12月31日

<sup>2</sup> 最新の会計年度の数字。売買回転率の計算には、バンガードETFのクリエーション・ユニット（原資産バスケット）の引渡しを含む、現物による設定・解約の結果受渡される証券価額は含まれません。

<sup>3</sup> ファンドの変動率の指標の一つで、過去のリターン分散の程度を示します。過去3年間の月次リターンを基に計算し、標準偏差の値が大きいほど、潜在的な変動率が高いこととなります。過去のパフォーマンス実績が36ヵ月に満たないファンドについては、標準偏差は計算されません。

<sup>4</sup> 記載された保有銘柄は一時的な現金投資および株式インデックス商品を含みません。

<sup>5</sup> セクターは、業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。

バンガードETFにおける受益証券の設定または交換は、通常数百万ドル単位のクリエーション・ユニット（原資産バスケットおよび現金）の引き渡しによってのみ行われます。投資家は、流通市場においてバンガードETFの受益証券の売買を行い、証券取引口座にこれらの受益証券を保有しなければなりません。その際、投資家は仲介手数料を課されます。また、ETF購入の際には基準価額を上回る金額を支払い、あるいは売却時には基準価額を下回る金額を受け取る可能性があります。

すべてのETF商品はリスクにさらされており、元金が失われる可能性があります。

バンガードETFについての詳しい情報は取扱い証券会社にお問い合わせください。また、投資目的、リスク、手数料、経費、その他重要情報等を十分にご検討ください。